

第10回 技術講演会・出展技術発表会を行いました。 (平成27年8月5・6日)

関東技術事務所では、建設技術展示館を開設し、平成25年11月に第12期リニューアルを行い、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を実施しております。その一環として「第10回技術講演会・出展技術発表会」をさいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂にて開催しました。

今回は、両日で延べ322名という多数の方々のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所の所長挨拶の後、技術講演会第1日目は、株式会社 建設技術研究所 技術顧問 今岡 亮司氏による「ためしてガッテン 液状化」、2日目は、国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループトンネルチーム 上席研究員 砂金 伸治氏による「トンネルの維持管理の現状と課題」と題したご講演を頂きました。

技術講演会の後は、出展技術発表会で出展者により18技術が紹介されました。

1 日 時	: 平成27年8月5 (水) 13:00~18:15・6日 (木) 13:00~17:15
2 場 所	: さいたま新都心合同庁舎 1号館 2階講堂
3 参 加 者	: 1日目 145名、2日目 177名 延べ 322名



主催者挨拶



1日目 技術講演会



2日目 技術講演会

要旨:

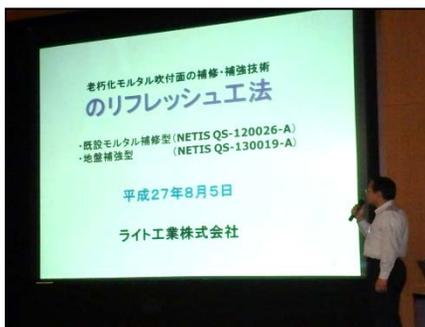
主に建設技術者の方々を対象として、建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を提供して、公共工事に係る技術者の知識の習得及び技術の普及を図ることを目的として開催。

要旨:

- ① 3.11 被災事例
- ② ためし(実験)の動機
- ③ 各種の液状化実験
 - ・飽和砂の振動による基本現象、盛土のストレッチ等
- ④ 対応基本方針の考え方
- ⑤ 現場状況の改善課題

要旨:

- ① 道路トンネルの現状
- ② トンネルの返上の発生原因と特徴
- ③ トンネルの維持管理スキームと点検調査
- ④ 変状の判定と健全性の診断
- ⑤ 措置と対策



出展技術発表会の様子



1日目 会場の様子



2日目 会場の様子

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「トンネル工、付属施設、法面斜面对策、仮設工」で、第1日目は9技術、第2日目は9技術についての発表が行われました。

【1日目】

技術名称「副題」	NETIS登録No.	出展者名
のリフレッシュ工法(既設モルタル補修型) 老朽化した既設吹付モルタルを補強する技術	QS-120026-A	ライト工業 株式会社
スノテップ 法面の既設小段を利用した雪崩予防工	HK-040009-V	東京製綱 株式会社
プラクトフェンス アンカー基礎による小規模落石防護柵	HK-120028-A	
ピストフェンス アンカー基礎によるエネルギー吸収落石防護柵		
ニューレスプ工法 老朽化した吹付法面の補修・補強による再生技術	QS-110014-V	日特建設 株式会社
超大型モノレール(単線軌道) 急傾斜・不整地運搬システム	KK-100080-A	内田産業 株式会社
DKボンド工法 不安定な高所岩や巨岩塊などを接着固定する技術	SK-980021-V	第二建設 株式会社
高所岩盤掘削機による岩盤掘削工法 ロッククライミングマシン10型による岩盤掘削工法	KT-010075-V	大昌建設 株式会社
多目的斜面保護用ブロックマット"ヴェルマット" 多目的斜面保護用ブロックマット"ヴェルマット"		前田工織 株式会社

【2日目】

技術名称「副題」	NETIS登録No.	出展者名
3D-ラストム(3D-LSTM) 山岳トンネル坑内の変位を計測する技術		株式会社 安藤・間
URUP(Ultra Rapid UnderPass) 工法 シールドマシンによりトンネルを造る技術	KK-050117-A	株式会社 大林組
SFT工法 鉄道や道路の直下に非開削でアンダーパスする技術	KT-050068-A	アンダーパス 技術協会
現場仮設ソーラーシステムハウス 災害対応型現場仮設ソーラーシステムハウス	CB-120016-A	株式会社 ダイワテック
ガードレール・ガードパイプ 自在R連続基礎ブロック ガードレールカーブ対応型連続基礎	CB-050040-V	株式会社 イビコン 館山コンクリート 株式会社 太平洋プレコン工業 株式会社
ガラス透光板 クリーンアレスタG-SP 網入り合わせガラス透光性遮音板	KT-120019-A	日本板硝子環境アメニティ 株式会社
デュラカムE-fX 遮音壁用先端改良型減音装置(エッジ効果抑制型)	KT-150014-A	
ランブルストリップス(センターライン対応型) 不快振動による正面衝突事故を対策する技術	HK-030032-V	株式会社 NIPPO
地震対策型段差抑制工法 アスファルト舗装の地震による段差を抑制する技術	KT-120053-A	